

平成24年11月14日

枚方市上下水道事業管理者
西尾 和三 様

枚方市上下水道事業経営委員会
委員長 真山 達志

枚方市上下水道事業の経営及び各計画策定等に関する意見について

枚方市では、下水道事業への地方公営企業法の適用を円滑に進め、経営健全化を図るため、また、水循環を環境保全の観点から総合的に捉え事業展開を行える体制とするため、平成23年4月に上下水道組織の統合が行われた。市の上下水道事業を取り巻く状況が大きく変化する中、この組織統合を機に、従来の「枚方市水道ビジョン」を改定し下水道ビジョンと併せた「枚方市上下水道ビジョン」の策定、及び「枚方市水道施設整備基本計画」の改定、「枚方市水道事業中期経営計画」並びに「枚方市下水道事業経営計画」の策定に向け、検討作業が進められてきた。

本委員会は、平成24年度中に3回にわたり委員会を開催し、「枚方市水道事業中期経営計画」の進行管理を目的とした平成23年度実績における水道事業経営評価の妥当性及び現在策定作業が進められている上記各計画等の案について調査・審議を行ってきたが、今回その結果について、枚方市上下水道事業経営委員会規程第2条の規定に基づき、下記のとおり意見具申するものである。

記

- 1 枚方市水道事業の自己評価結果に対し、各委員の専門的見地等幅広い観点からそれぞれの計画主要施策の評価の妥当性について検証作業を実施した。

具体的には、23件の基本施策に関連付けた40件の計画主要施策のうち、既に完了した4件を除く36件に対し、当初目標を上回る成果が得られた計画主要施策（S評価）が2件、当初目標通りの成果が得られた計画主要施策（A評価）が33件、当初目標に向けた取り組みが未実施あるいは検討のみに留まっている計画主要施策（B評価）が1件となっており、施策の進捗状況等を審議した結果、評価結果は概ね妥当であると判断した。

また、水道事業ガイドライン業務指標（PI）を用いた類似団体との比較結果から見ても、経営状況は全体として良い状況であると判断できる。

今後も現状に満足することなく、新たに策定する「枚方市上下水道ビジョン」に掲げる基本理念達成に向け、不断の努力を重ねていくことを期待する。

- 2 枚方市上下水道ビジョン等の計画案について、水道に関しては、現行の「枚方市水道ビジョン」に掲げた6つの基本方向に従い、現在の状況を勘案し、今後の課題に対応させ基本施策の整理統合を行っている。また、将来水需要の見直しや、老朽化した施設の耐震化と合わせた更新、改良など、現在の上下水道が抱える課題に対応するための見直しを行うものであり、今回審議した計画は、現状を踏まえ経営の効率化を図りながら持続的に事業を推進していく基本方向を示すものとして妥当なものと判断する。

また、下水道に関しては、市がめざす下水道の役割を明確にし、「課題と解決に向けた方針」（汚水整備の方針、浸水対策・雨水整備の方針、施設の改築更新の方針、業務の効率化と収入の確保の方針等）のより具体的な方向性を経営の視点で整理するなど、安定的な下水道事業の経営をめざす内容となっており、妥当なものと判断する。

なお、「枚方市上下水道ビジョン」の作成にあたってはパブリックコメントを実施するなど、幅広い検討が行われたものである。

今後、広く市民への周知を行うとともに、適宜必要に応じた計画の点検なども行われたい。また、上下水道事業の良質なサービスを安定的に供給するため、「枚方市上下水道ビジョン」の実施計画的な役割を担う経営計画等に掲げる施策の推進に着実に取り組まれるよう期待する。

- 3 枚方市上下水道ビジョン等の計画案に方向性が示されている、水道料金体系等の見直し及び下水道使用料の見直しを行うにあたっては、水需要の動向や上下水道事業の経営状況等を踏まえ、受益と負担の公平性の観点から十分に検討するとともに、市民に対する説明責任を果たされたい。

以上、積極的な情報開示の下、枚方市上下水道ビジョン等計画に基づき、今後とも、上下水道事業の良質なサービスを安定的に供給できるよう、健全な事業推進に努められたい。